地域での活動

学校防災キャンプ

7月下旬、今年も小学校にて「学校に

泊まろう会(学校防災キャンプ)」が行われました。

この事業は、児童の保護者有志で取り組まれてきたもので、今年で 20回目(*)。私は、今年も実行委員長として参加しました。

参加者は約70名(うち、児童は30名強)。



概ねスケジュールは例年 通りですが、今年は「災害 備蓄倉庫の見学」及び「防 災ビデオ視聴」を新たに盛 **り込みました**。また、天候 が怪しかったため、校庭で はなく体育館にテントを設 営しました。(左の写真)

東日本大震災から2年半がたちました。しかし、継続的な備えや訓練 は欠かせません。昨年も記しましたが、「不便な生活をする」「真夏に クーラーに頼れず、寝苦しい夜を過ごす」という、災害時には当たり前 のことを、年に1回だけでも体験することは、便利な生活に慣れた子 供や私達にとっては、いざという時への備え・耐性につながると思い ます。

こうした事業は、地域の大人として、今後も積極的にかかわっていくと 同時に、議会を通じて区政に反映していきたいと思います。

(*)第20回目という節目でもあり、井出教育長(第1回開催時の校長先生でし た)からコメントもいただきました。

概略スケジュール

【初日】

13:30 集合·受付·開会式

14:00 救命救急簡易講習 防災倉庫/災害備蓄倉庫 見学

防災ビデオ視聴

15:15 食事づくり(火起こし体験、 かまど設営、飯ごう炊飯、カ レーとハヤシライスづくり)

19:00 体育館にテント設営

20:00 お話し会(読み聞かせ)

【2日目】

6:30 ラジオ体操、片付け

7:30 朝食(防災食)配布、閉会式



開会式にて

すぎなみ舞祭

10月13日、第6回目とな

る「すぎなみ舞祭」が、都立済美山運動広場において行わ れました。

私も、普段「よさこいソーラン踊り」を教えている子供達と一 緒に参加。10月とは思えない暑い日差しのもと、子供達は 今年も元気に踊ってくれました。

なお、近隣の子供達に踊りを教え始めてから10年になりま すが(この間、「すぎなみ舞祭」も第1回から参加していま す)、参加児童の減少により、この大会でチームを解散する ことになりました。

寂しい想いもありますが、今後も様々な機会を通じて、子供 達が多様な経験をできるよう、お手伝いをしていきたいと思 います。



参加者に配られたリストバンド。「参加者全 員ダンス」の際には、色毎に分かれ、チー ムを超えて一緒に踊りました。

次回の定例区議会(平成25年第4回定例会)は、11月19日(火)開会予定です。

区政や岩田いくまに対する質問・ご意見・ご要望をおきかせください。 FAX:03-3247-8660 もしくは E-Mail:ikuma@gakushikai. jp



杉並区議会議員(無所属) 岩田いくま 区政報告 第40号(平成25年秋号)

発行:岩田いくま 〒168-0082 杉並区久我山5-24-30-103 TEL/FAX:03-3247-8660 E-Mail:ikuma@gakushikai.jp HP; http://ikuma-iwata.net (←毎日更新しています!)

岩田いくま(生真)略歴:昭和46年(1971年)生。都立西高、東京大学卒。 外資系コンサルティング会社勤務を経て、平成15年5月より杉並区議会議員。 平成23年5月より3期目。

趣味:バレーボール(大学時代は母校で部活動のコーチを行う)、読書。 家族:妻、長男(10歳)、長女(8歳)、次男(5歳)。

施策の7割が、自ら設定した目標値に届かず ~平成24年度決算の問題点を考える~

平成24年度杉並区一般会計決算が、10月10日の区議会において、賛成多数で認定されました。 しかしながら、この決算には主に下記のような問題点があるとの考えから、私自身は反対をいたしました。

問題1:施策の7割が目標を未達成

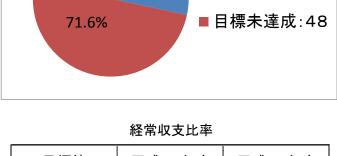
平成24年度から始まる総合計画(10年計画) では、事業の進捗状況をはかるために、

73の施策指標を設定しています。

平成24年度においては、判断可能な67指標 のうち、目標を達成したのは19のみ。率にして 28%にとどまりました。

問題2:財政運営上の目標も未達成

総合計画において、「経常収支比率(*)について 80%以内を目指します」としながら、平成24年 度は82.8%であり、初年度から達成できませ **んでした**。それどころか、前年度より0.1%だ けとはいえ悪化しており、"目指します"という方 向性すら達成できておりません。



目標達成/未達成の施策の割合

28.4%

■目標達成:19

日標値 平成23年度 平成24年度 80%以内 82.7% 82.8%

(*)経常収支比率・・・財政の弾力性を判断する指標。適正水準は、一般的に70~80%とされている。比率が高いほど 財政構造の硬直化が進んでいることを示している。

問題3:計画策定や事業進捗の遅れ

既に2~3月議会で指摘したとおり、平成24年 度に策定とされていた**区立施設再編整備計画** やまちづくり基本方針が、平成25年度へと先 **送り**されました。

問題4:区債(借金)の増加

12年振りに、区債(借金)残高が増加に転じました。 (平成23年度:152億円

⇒ 平成24年度:190億円)。



上記のような状況は、①総合計画初年度として、適切に事業が執行されているか ②適切 に財政運営がなされているか という点からみて、問題があります。

特に、自ら定めた数値目標に対する意識の低さが非常に気になるところであり、トップマネ ジメントとして、適時適切な進捗管理を行うことを求めました。



9月11日及び12日、区議会全員協議会が開催されました。

また、9月30日~10月9日、決算特別委員会が開催されました。(10月1日、2日、4日、7日に質問者として登壇。9日には、 会派を代表して平成24年度各会計決算に対する意見開陳を行いました。)

*決算特別委員会の様子は、杉並区議会公式ホームページの委員会録画中継(下記)でご覧いただけます。 http://www.gikai.city.suginami.tokyo.jp/vod iinkai/vod iinkaitop.htm

「使用料等の見直し(素案)」について

以下、その一部を取り上げます。

区議会全員協議会において、区長から「使用料等の見直し(素案)」が示されました。 <主な内容>

集会施設体育施設	●使用料の見直し 及び <u>登録団体への経済的支援(半額での利用)の廃止</u> ● <u>激変緩和措置(*)は行わない</u> (*)急激に使用料があがらないよう、上昇率等に上限を設ける措置	
学校開放施設	●登録団体からも使用料を徴収する(従来は無料 ⇒ 体育館は3時間で1,600円、 校庭は3時間で600円) *区内在住・在学の児童・生徒及びその指導者で構成された登録団体は現行通り無料	
学童クラブ利用料	●月額3,000円 ⇒ 4,000円	
有料制自転車駐車場	●使用料の見直し	
放置自転車撤去手数料	●3,000円 ⇒ 5,000円	
駐車場	●高井戸地域区民センター等4施設の駐車場を有料化	
その他	●改定時期は、平成27年1月1日を予定 ●今後は定期的(概ね3年ごと)に見直しを行うルールを確立	



集会施設等の使用料は平成9年度から変わってお らず、受益者負担の適正化を図ることは必要です。 しかしながら、「登録団体への経済的支援の廃止」 と「激変緩和措置を行わない」としたことで、

使用料が3.5倍以上となる施設も存在します。

- 極端な負担増とならないよう、激変緩和措置の導入
- 利用者の利便性向上のため、時間区分の見直し
- (例:◇学校開放施設の利用を3時間 ⇒ 1時間単位へ変更

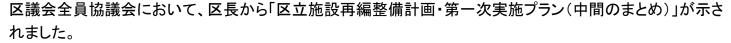
◇集会施設の午後利用を、13時~17時の4時間 ⇒ 2時間単位に分割)

等を、決算特別委員会における質疑及び意見開陳において求めました。



のまとめ)について

区立施設再編整備計画・第一次実施プラン(中間



<主な内容> *内容が多岐に渡るため、主だったもののみをとりあげております

学校	●他施設との <u>複合化・多機能化</u> を推進	
児童館	●児童館としての施設は廃止。新たな地域子育て支援拠点(仮称:子どもセンター)・保育園・地域コミュニティ施設等への転用を検討 ●学童クラブや小学生の放課後居場所事業は、小学校内で実施することを基本 ●乳幼児親子対象の「ゆうキッズ」事業は、(仮称)子どもセンター等で実施	
ゆうゆう館	● <u>多世代が集える地域コミュニティ施設</u> へ転用	
区民事務所等	● <u>区民事務所会議室の廃止</u> ●証明書類のコンビニ交付導入に合わせ、阿佐谷・宮前・桜上水北・高円寺駅前の4事務 所を廃止	



①区立施設の老朽化が進み、その改築・改修費用が今後大きな財政負担となること

②人口構造(年齢別人口構成)の変化により施設利用ニーズが大きく変化していること を考えれば、区立施設の再編整備は行わねばなりません。しかしながら、現段階では大きな方 向性は理解できても、個別具体的な施設名やスケジュールが示されているものが少ないため、

判断しづらいのが正直なところです。今後、より具体的な計画を早期に示すよう求めるとともに、

- 『広報すぎなみ』への掲載を含め、

 区民への説明をしっかり行うこと
- 計画を実施した場合の、施設更新費用及び再編による財政効果額を明示すること

等を、決算特別委員会の意見開陳において求めました。

なお、決算特別委員会における質疑においては、「区民への説明にあたって、過去・現在・未来の(町丁別・ 年齢別等)人口推移を、地図情報システムを活用してわかりやすく説明すること」も求めています。

決算特別委員会

下記のテーマで質疑を行いました。

1日	使用料等の見直し(上記参照)	
2日	総合計画の進捗状況(P. 1参照)	秋川研修室の今後について
4日	古紙持ち去り対策(右欄参照)	次世代育成基金(右欄参照)
	所有者が特定できない空き家対策	
27日	地図情報システムの活用(P. 3参照)	科学館の今後について

【古紙持ち去り対策】

杉並区でも、「廃棄物の処理及び再利用に関する条例」に基づき、 古紙持ち去り対策に取組んでいます。

しかしながら、未だ違反者が後を絶ちません。

そうした中、いくつかの自治体で、GPS(全地球測位システム)を活 用した対策が行われ始めました。

杉並区における実施予定を確認したところ、「今年度中には実施した い」旨の答弁を得ました。

【次世代育成基金】

昨年度から始まった次世代育成基金活用事業。名寄市・東 吾妻町等友好自治体との子ども国内交流や、交流自治体 中学生親善野球大会等に活用されています。

しかしながら、年間150名程度の参加者中、これまで障害 児の参加はゼロ。今後、障害児向けの事業の実施や障害 児が参加しやすい枠組みをつくることを含め、**どのような事** 業が適切か常に見直しを行うことを求めました。



